MPC-WEBORCAU

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

202510

目次

1 はじめに 3

2 WebORCA オンプレ版のセットアップ補足情報 3

2-1 参照手順書 3

2-2 設定実施済項目 3

2-3 追加設定が必要な項目 4

2-4 その他 5

2-4-1 ubuntu 初期設定パスワードについて 5

2-4-2 LibreOffice インストールについて 5

2-4-3 Samba インストールについて 5

2-4-4 deb ファイルのインストールについて 6

3 本製品の各部名称 8

ランプ 9

ボタン 9

4 本製品のログオン方法 10

5 困った時には 11

5-1 Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順 11

6 SSD について 12

6-1 ディスクの状態の確認 12

7 システムリカバリーする 13

7-1 リカバリーUSB メモリーを作る 14

7-2 リカバリーの準備をする 20

7-3 システムをリカバリーする 20

お問い合わせについて 22

専用端末の注意事項 22

製品のお問い合わせについて.....22

ハードウェアに関するお問い合わせ先（メールのみ）.....23

故障時について.....24

1 はじめに

本製品は、「Ubuntu Pro for Devices」のライセンスを付与した「Ubuntu 22.04 LTS」（以下 Ubuntu 環境）がプリインストールされています。また、WebORCA オンプレ版を利用するための必要なソフトウエアがプリインストールされています。

2 WebORCA オンプレ版のセットアップ補足情報

本製品で WebORCA オンプレ版を利用するには、以下の内容を確認し、追加設定が必要な内容を実施してください。

2-1 参照手順書

ORCA 管理機構手順書「日医標準レセプトソフト Ubuntu 22.04 LTS のインストールドキュメント(HTML 版)」

(https://www.orca.med.or.jp/receipt/download/jammy/jammy_install_52.html)(2024 年 7 月 29 日現在)

2-2 設定実施済項目

参照手順書の以下の項目は設定実施済となっています。

項目	実施内容および注意事項
「日医標準レセプトソフトのインストール」	手順通りにインストール ※「日レセのインストールと設定」の「ormaster パスワードの設定」は実施しない
「クライアント環境の構築」	手順通りにインストール ※Chrome 拡張機能をインストールしない。 ※「4. GoogleChrome の追加設定をおこないます。」の(3) 「複数のファイルの自動ダウンロードを許可するサイト」に"127.0.0.1:8000"を入力 ※「4. GoogleChrome の追加設定をおこないます。」の(4) 「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」に"127.0.0.1:8000"を入力 ※「日本語入力の設定」の「◆クライアント環境が Ubuntu の場合」実施

	※「動作確認」まで実施 これ以降の参照手順書の手順・項目に関して、ユーザ環境により内容が異なるため、以下の項目のみ実施しています。 ※「Dock の設定」実施 ※「印刷の設定」=> 「MaxJobs の設定」実施 ※「IPv6 アドレスの無効化」実施
追加設定	ブラウザ(Google Chrome)のホームページに"http://weborca-server:8000/"を設定

2-3追加設定が必要な項目

項目	実施内容および注意事項
「日医標準レセプトソフトのインストール」	「日レセのインストールと設定」の「ormaster パスワードの設定」は未実施 ※Ubuntu プロンプト上で、以下、コマンドを実施し、パスワードを設定してください。 sudo -u orca /opt/jma/weborca/app/bin/passwd_store.sh
「クライアント環境の構築」	「3. googleChrome を起動して、Chrome 拡張機能をインストール」は未実施 ※「動作確認」内の「オンプレサーバーの IP アドレスを指定する」は未実施(プリンタの設定をここでは行わない為) ※「アクセスキーの登録」は未実施
「印刷の設定」	「プリンターの追加」、「WebORCA オンプレ版のプリンター設定」、「Cups の再起動」、および「印字テスト」は未実施
「IP アドレスの固定」	未実施

また、2024 年 7 月現在の ORCA 管理機構様提供のレセ電ビューア セットアップ手順等を、“/etc/I-O_DATA”フォルダに格納してありますので、ご利用ください。

2-4 その他

2-4-1 ubuntu 初期設定パスワードについて

ユーザー	oruser
コンピュータの名前	weborca-server
パスワード	iodata

（注意）セキュリティのため、初期設定パスワードは、セットアップ後、必ず変更してください

→Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順

2-4-2 LibreOffice インストールについて

下記の手順をターミナルコンソールにて実施してください。

```
$ sudo add-apt-repository ppa:libreoffice/ppa

$ sudo apt update && sudo apt upgrade

$ sudo apt install libreoffice

$ sudo apt install libreoffice-l10n-ja libreoffice-help-ja
```

2-4-3 Samba インストールについて

下記の手順をターミナルコンソールにて実施してください。

```
$ sudo apt update && sudo apt upgrade

$ sudo apt -y install samba

$ sudo apt -y install smbclient cifs-utils
```

※samba のインストールで下記のエラーが発生した場合。

```
samba : 依存: python3-samba しかし、インストールされようとしていません
```

下記のコマンドを実行してくさい。

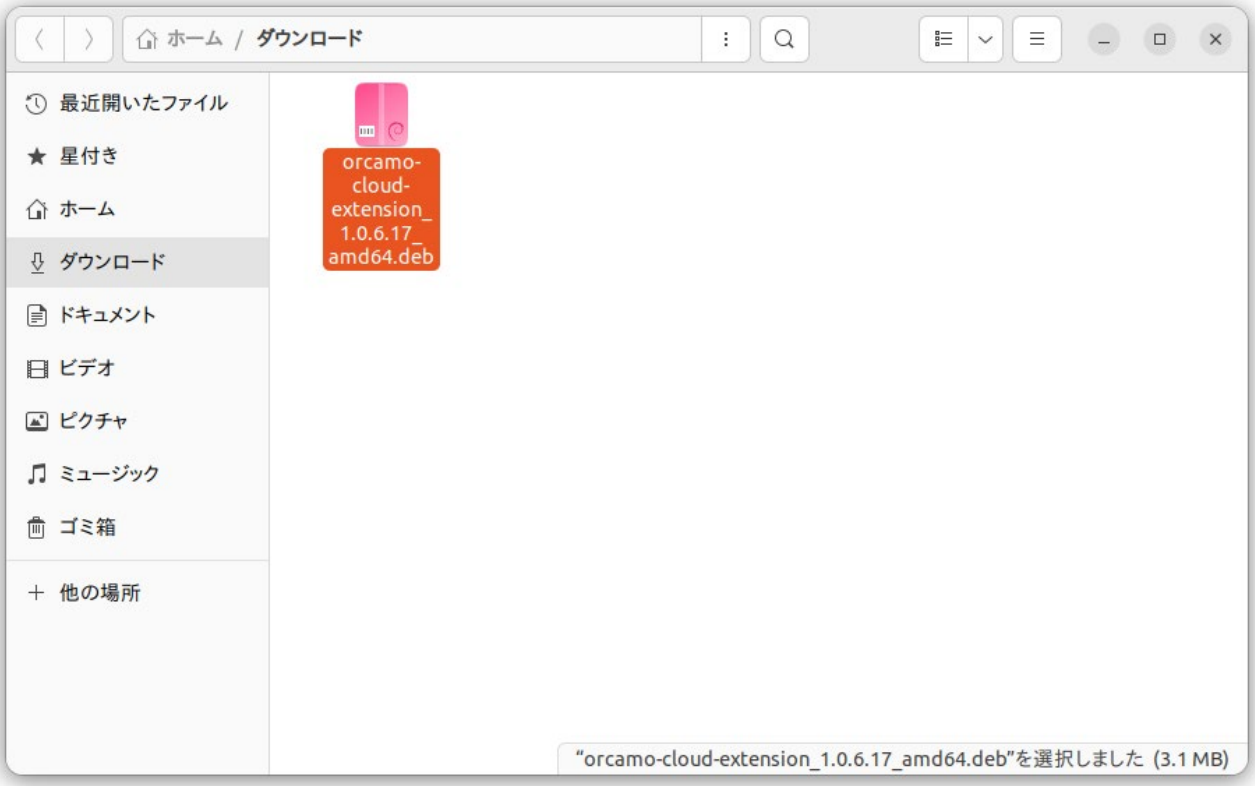
```
sudo apt -y remove libtdb1

sudo apt -y remove libwbclient0
```

2-4-4deb ファイルのインストールについて

下記の手順を参照してください。拡張 OS ネイティブモジュール例に説明します。

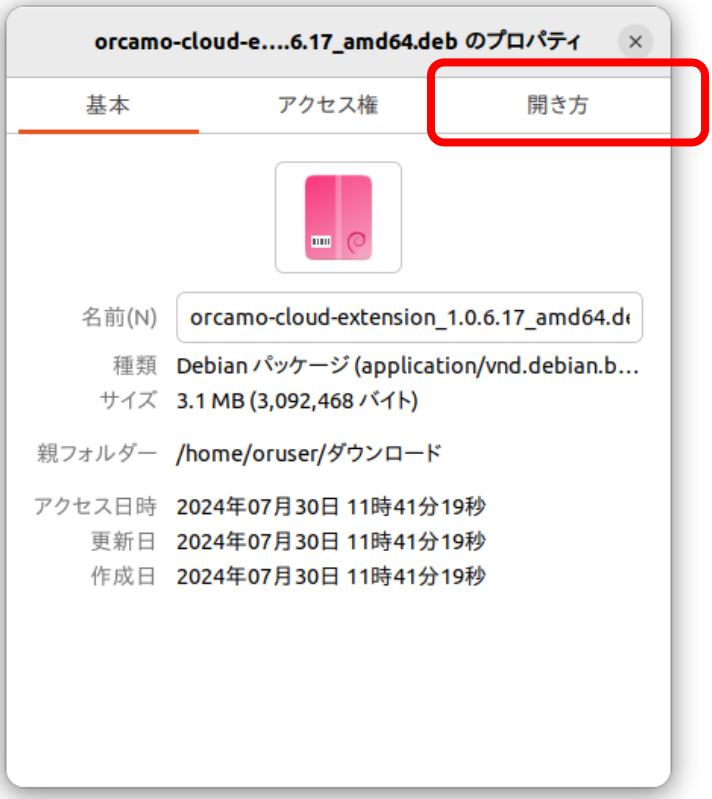
下記の「orcamo-cloud-extension_1.0.x.x_amd64.deb」をマウス等によって右クリックします。



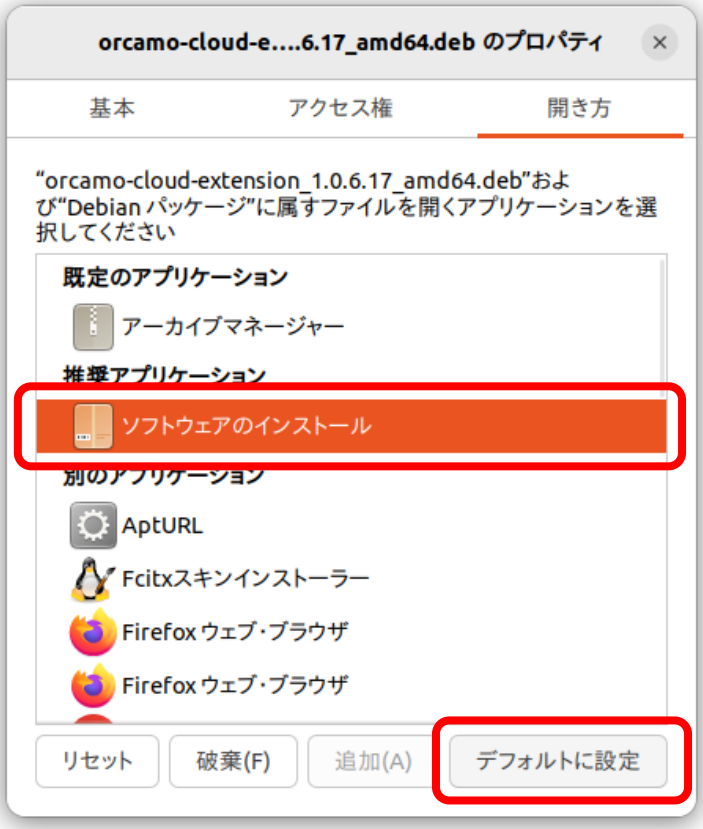
右クリックのメニューから「プロパティ」を選択します。



ファイルのプロパティが表示されるため、「開き方」をクリックします。



「ソフトウェアのインストール」を選択し「デフォルトに設定」をクリックし完了です。

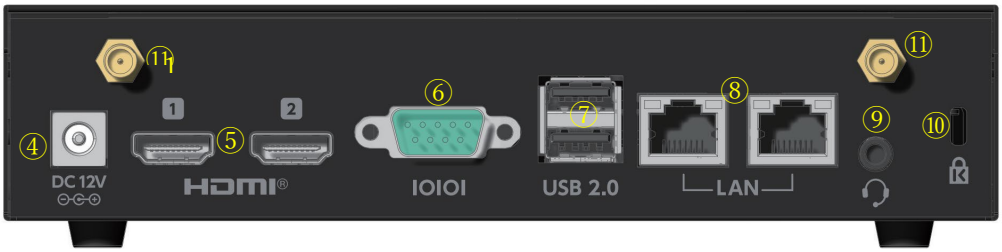


3　本製品の各部名称

正面

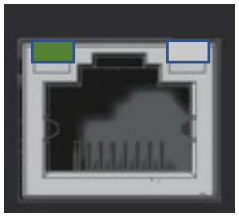


背面



①	電源ボタン（電源ランプあり）
②	USB ホストポート USB 5Gbps（USB 3.2 Gen1） Type A x2
③	USB ホストポート USB 5Gbps（USB 3.2 Gen1） Type C x1
④	電源端子（12V 入力/センタープラス）
⑤	HDMI ポート（Type A x2）
⑥	シリアルポート（RS232, Dsub 9 ピン オス）
⑦	USB ホストポート（USB2) Type A x2
⑧	有線 LAN ポート（RJ45/1Gbps）
⑨	3.5mm フォンジャック（4 極）
⑩	セキュリティスロット（ケンジントン）
⑪	Wi-Fi アンテナコネクタ

ランプ

電源ランプ	種別：LED（電源ボタン中央に搭載） 状態： 青点灯：　電源 ON 点滅：　スリープ状態 消灯：　シャットダウン/休止状態
LAN	種別：LED（LAN コネクタ上部両端に搭載） 状態：橙点灯/点滅：　Traffic 緑点灯：　Link status 

ボタン

電源ボタン	種別：プッシュスイッチ 機能： シャットダウン状態　⇒　短押し/長押し　⇒　電源 ON 電源 ON　⇒　長押し　⇒　強制電源 OFF 電源 ON　⇒　短押し　⇒　シャットダウン　※OS の設定による

４　本製品のログオン方法

本製品にディスプレイやキーボード・マウスをつなぎ、直接操作している場合のログオン方法です。

1. 添付の初回設定マニュアルを参照し、本製品にディスプレイとキーボード・マウスをつないだ上で、AC アダプターで電源コンセントとつなぐ
2. 前面の POWER ボタンを押す
3. 2-4-1 を参照し、ユーザーの選択とパスワードを入力してください。

直接操作による本製品へのログオンは完了です。

5　困った時には

5-1　Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順

変更したいユーザーでログインの上、ターミナルコンソールにて下記を入力してください

$ passwd

”Current password”には、現在のパスワードを入力してください

"新しい パスワード:"には、新しいパスワード※を入力してください

ご注意　新しいパスワードは 8 文字以上である必要があります。

6 SSD について

6-1ディスクの状態の確認

ディスクの状態を確認したい場合はターミナルコンソールにて下記を入力してください。

Disk (sda)を確認します。

```
$ sudo apt update

$ sudo apt -y install smartmontools

$ sudo smartctl -a /dev/sda
```

出力の「SMART Error Log Version: 1」が「No Errors Logged」以外であればドライブにエラーがあり SSD の寿命の為、本体の買い替えをおすすめします。

2024 年 9 月 27 日現在、本商品に採用されている SSD の TBW は、200TBW なります。

出力の「Total_LBAs_Written」の「RAW_VALUE」の結果を”X”とします。

その X を下記の式に代入し SSD の TBW を下回れば問題ありません。

$$\frac{X}{1024} < 200TBW$$

7　システムリカバリーする

ご注意

- システムリカバリーをおこなうと、本製品のシステムおよびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。

- システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

【重要】システムリカバリーは、必ず以下の手順にしたがってください

1. リカバリーUSB メモリーを作る

2. リカバリーの準備をする

3. システムをリカバリーする

7-1　リカバリーUSB メモリーを作る

弊社 IO Portal にユーザー登録し、「MPC-WEBORCAU サポートソフト」をダウンロードします。

それを使って、リカバリーUSB メモリーを作ります。

【重要】16GB 以上の USB メモリーが必要です。別途準備してください。

1. USB メモリーを 本製品（UbuntuPC ）の USB ポートに差し込む

   → Ubuntu が認識すると、左サイドバーに USB デバイスが表示されます。



2. USB メモリーをフォーマットする

   ① 画面左下のアプリケーションメニュー をクリックし、［ディスク］をクリック。



   ② フォーマットする USB メモリーを左側のリストから選ぶ。



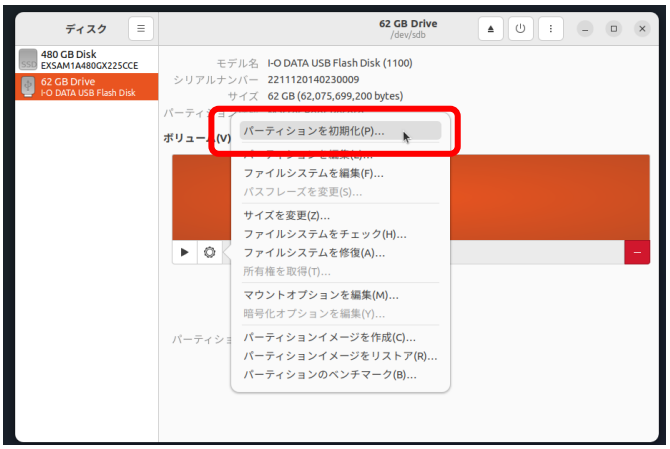
③ デバイスがマウントされていたら■をクリック

→USB メモリーがアンマウントされます。

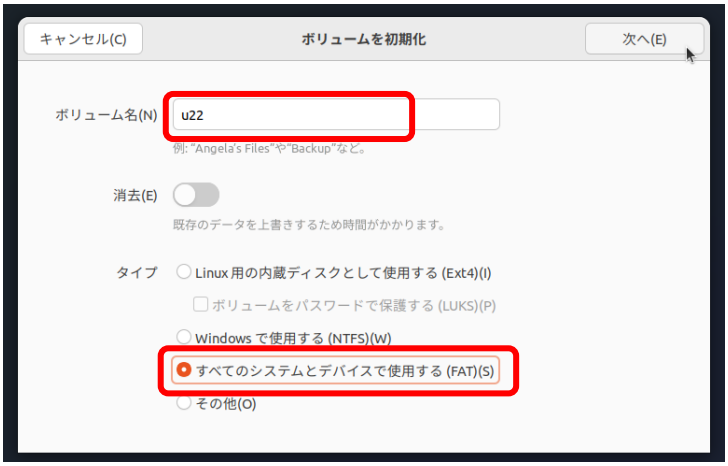


④ 歯車アイコンをクリックし、［パーティションを初期化］を選ぶ

→［ボリュームを初期化］画面が開きます。



⑤ 任意の［ボリューム名］を入力し、［タイプ］で［すべてのシステムとデバイスで使用する(FAT)］ を選び、［次へ］をクリック。



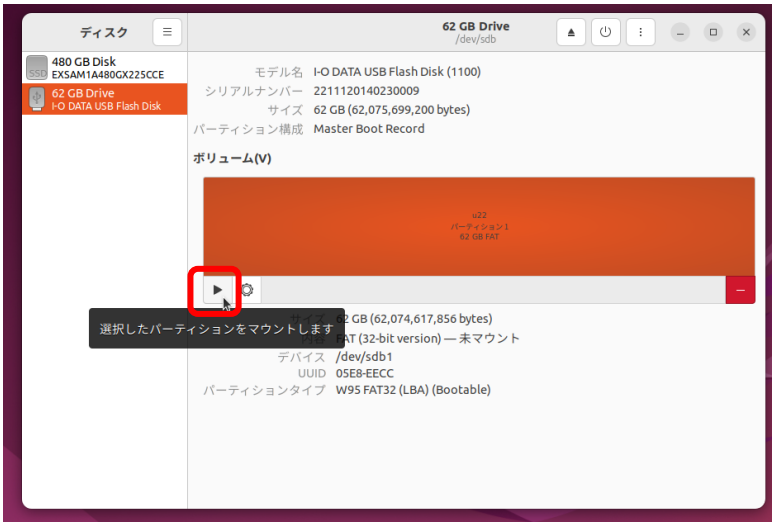
⑥ ［初期化］をクリック

→ フォーマットを開始します。



⑦ フォーマット完了後［▶］をクリック

→USB メモリーがマウントされますので、画面を閉じます。



3. ダウンロードしたファイルを展開する

① 左サイドバーの［ファイル］でファイルが保存されているフォルダーを開く



② ファイルを右クリックし［ここで展開］をクリック

→同じフォルダーに展開されます。

4．展開したフォルダーを USB メモリーにコピーする

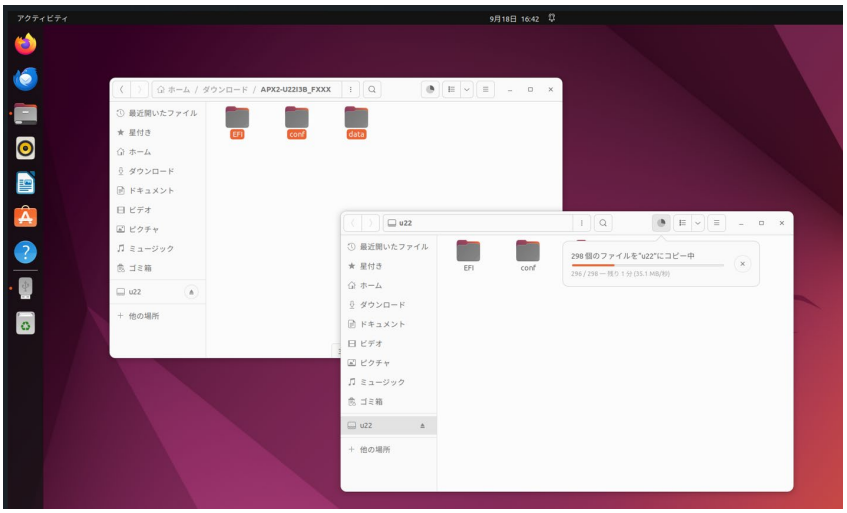
① 左サイドバーの USB デバイスをクリック



② 展開されたフォルダー（例：~/Downloads/APX2-U22I3B_FXXX）から、

下記フォルダーをドラッグ＆ドロップで USB に移動する

「EFI」「conf」「data」



5. 左サイドバーの USB デバイス を右クリック し、［取り出す］をクリックして

USB メモリーを取り外す

【参考】Windows パソコンで作成する場合

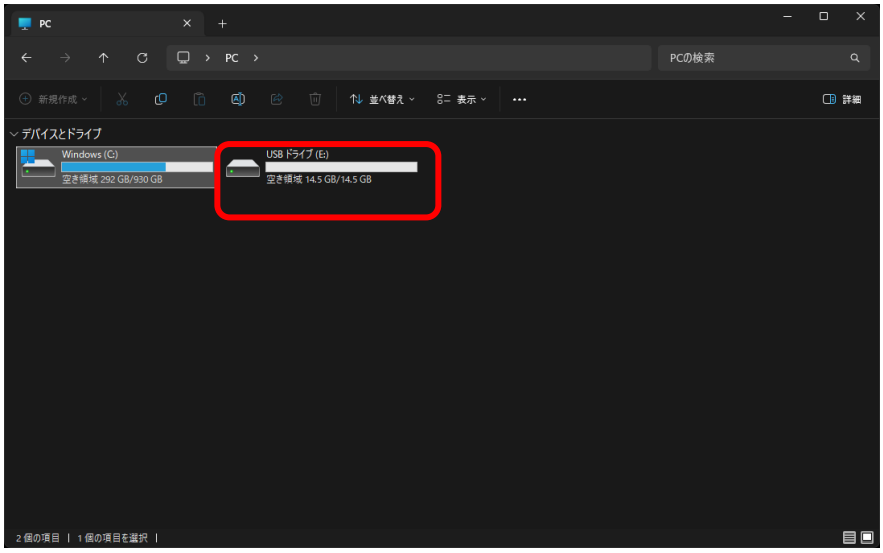
1. パソコンを用意し、IO Portal から「MPC-WEBORCAU サポートソフト」をダウンロードする

   IOPortal（https://ioportal.iodata.jp/?lsrc=emanu）にアクセスし、ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、「MPC-WEBORCAU サポートソフト」をダウンロードできます。

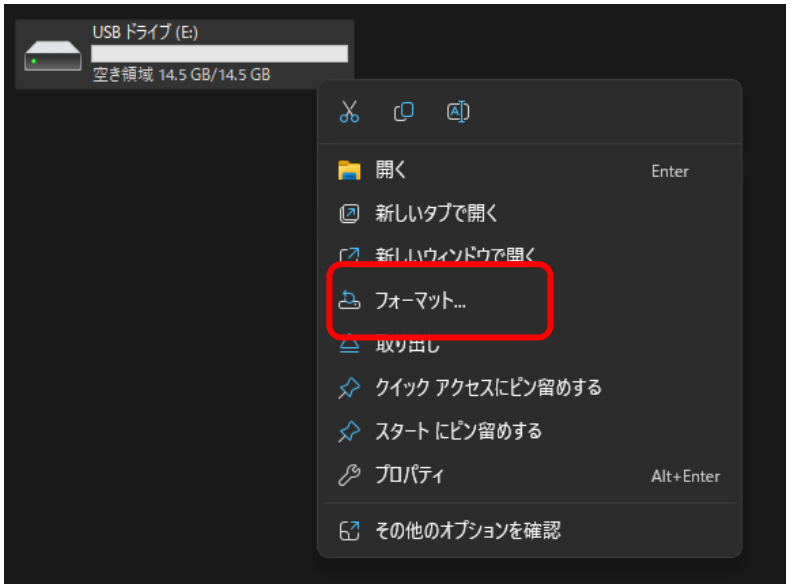
2. 手順を参照して、リカバリーUSB メモリーを作成してください。

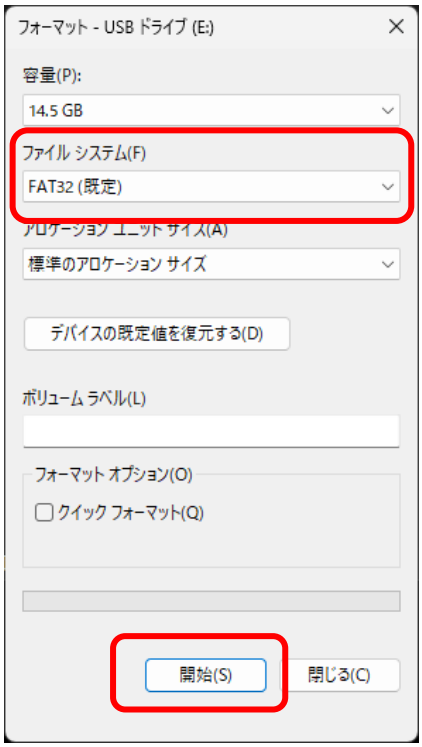
リカバリー用 USB メモリー作成手順

① 「作成用 PC」に「リカバリー用 USB メモリー」を接続する。

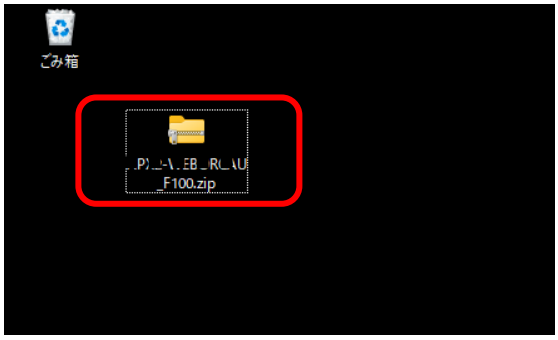


② 「リカバリー用 USB メモリー」を「作成用 PC」で FAT32 フォーマットする。

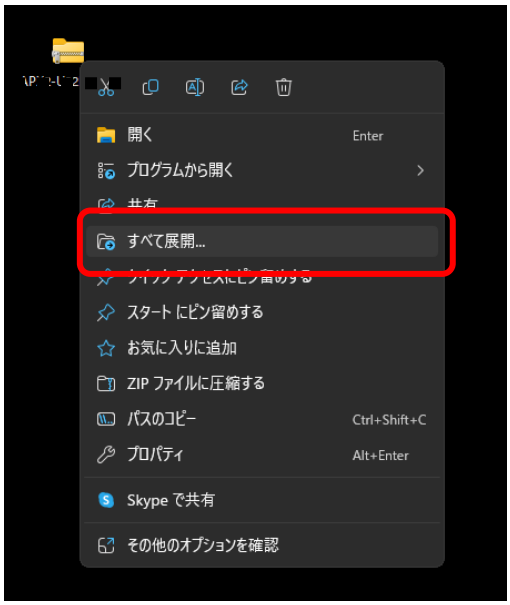


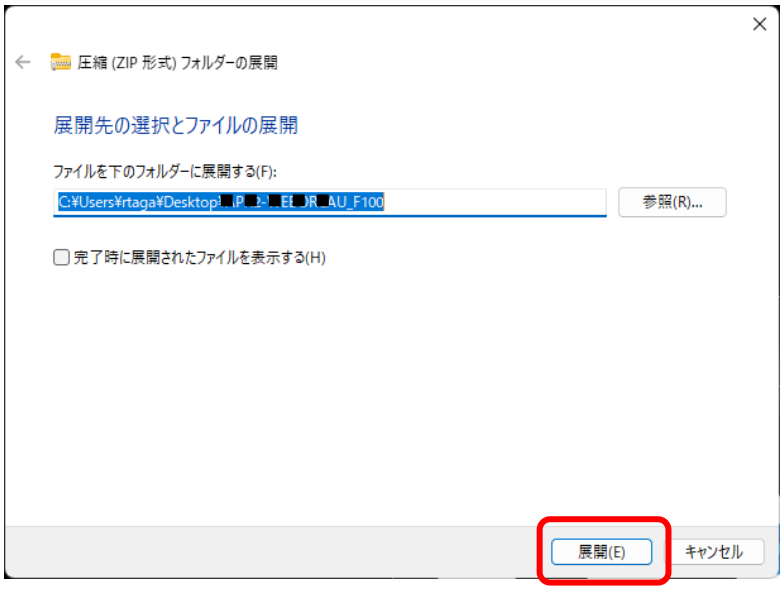


③ 「MPC-WEBORCAU サポートソフト」をダウンロードします。

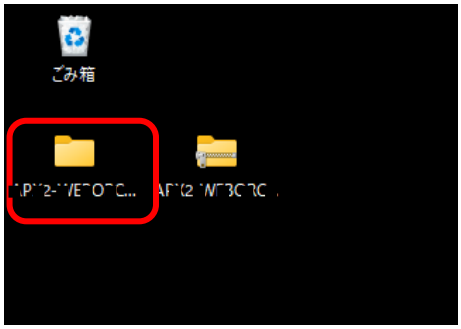


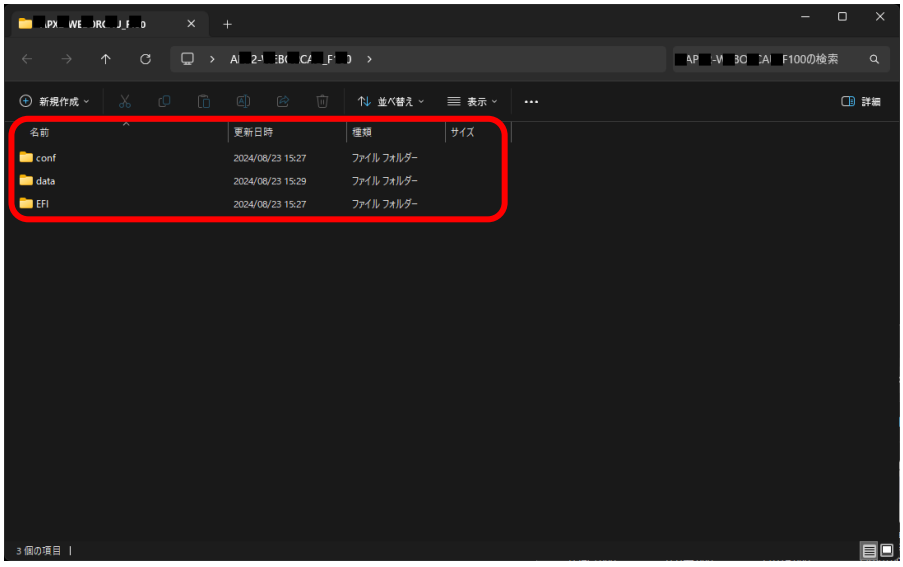
④ ダウンロードされた圧縮 ZIP ファイル「MPC-WEBORCAU_Fxxx.zip」を任意の場所に解凍します。
(「xxx」はバージョン)





⑤ 解凍されたフォルダすべてを「リカバリー用 USB メモリー」にコピーする。





⑥ 作成完了

7-2　リカバリーの準備をする

リカバリーに必要な機材を本製品へ接続します。

1. 次の機材を用意する

   - HDMI ディスプレイ
   - USB キーボード
   - 作ったリカバリーUSB メモリー

2. 本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。

   ※ 以下の機器以外は接続しないでください。

   - HDMI ディスプレイ

     背面の HDMI コネクターに接続する

   - USB キーボード

     背面の USB ポートに接続する

   - リカバリーUSB メモリー

     背面の USB ポートに接続する

準備が終わったら、システムをリカバリーするに進んでください。

7-3　システムをリカバリーする

1. リカバリーの準備をした上で、本製品の電源を ON にする

   ⇒ リカバリープログラムが起動します。

ご注意 リカバリープログラムが起動しない場合

BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

① 本製品の電源投入直後より、［DEL］キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する

② カーソルキーで［Boot］を選ぶ

③ カーソルキーで［Boot Option #1］を選び、Enter キーを押す

④［USB Device: XXX］を選び、Enter キーを押す

（XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）

⑤ カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す

2. リカバリーの実行

自動でリカバリープログラムが実行されます。

```
  ######################################
    Check Program Result:
    ------------------------------------
    Model Name: MPC-WEBORCAU
    System Version: x.xx
    Memory: 32598532

          OKOKOK    OK    OK"
        OK      OK  OK  OK"
        OK      OK  OKOK"
        OK      OK  OKOK"
        OK      OK  OK  OK"
        OK      OK  OK    OK"
          OKOKOK    OK      OK"

Input "confirm" and Enter Key:
```

(「xxx」はバージョン)

上記の画面が表示されたら、リカバリー処理は終了です。

キーボードで confirm を入力し <Enter> キーを押すと、本製品の電源が自動的に OFF になり、リカバリープログラムは終了します。本製品の電源が OFF であることを確認し、リカバリー USB メモリーを取り外してください。

以上でシステムのリカバリーは終了です。

お問い合わせについて

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は併せて終了とさせていただきます。(保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く)

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア

https://www.iodata.jp/lib/

保証期間1年間

専用端末の注意事項

- 本製品に使用しているハードウエア（筐体）は、Windows ベースとなります。

  Ubuntu のみの端末の場合は Windows+Ubuntu や既存のオンライン資格確認端末等と挙動が異なります。

- 本製品はスタンバイ機能には対応しておりません。

製品のお問い合わせについて

- ハードウェア、ソフトウェアの切り分けについては ORCA ベンダー様にてご実施ください。
- WebORCA につきましては、I-O DATA/日本医師会 ORCA 管理機構様で検証を行っておりますが、I-O DATA からのテクニカルサポートは実施しておりません。
- Ubuntu の各種サービスは Canonical からの提供となります。

- Ubuntu のテクニカルサービスの提供はありません。必要な場合は、Ubuntu サポートサービスを行っているインテグレータ様にご相談ください。
- 本製品は Ubuntu 22.04 LTS を搭載しています。
- Ubuntu Pro for Devices は Canonical 社から提供する Ubuntu を長期間安心してご利用いただける組み込み機器向け商用サービスです。サービスの詳細は下記 URL よりご参照ください。

  ▼Ubuntu Pro Description

  https://ubuntu.com/legal/ubuntu-pro-description

  ▼サービス規約

  https://ubuntu.com/legal/ubuntu-pro-service-terms/ja

  ▼知的財産ポリシー

  https://ubuntu.com/legal/terms-and-policies
- 上記サービス規約と本サービスでは以下の差異があります。

  ・Ubuntu LTS のリリースから 10 年間セキュリティメンテナンスが提供されます。

  ・Ubuntu のアップグレード・ダウングレードができません。

  ・本サービスはバグ等の修正や技術サポートを提供するものではありません。

  ・本サービスは機器に対して付与されるものとなります。

ハードウェア、当社製ソフトウェアに関するお問い合わせ先（メールのみ）

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/signage

故障時について

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL(FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- □ 商品一式
- □ 申込番号を書いたメモ(Web申込時に発行された番号)
- □ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

USB Type-C® and USB-C® are registered trademarks of USB Implementers Forum. USB 2.0 Type-C™ is a trademark of USB Implementers Forum.